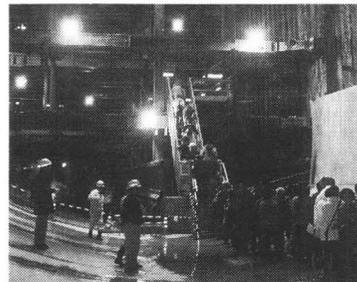


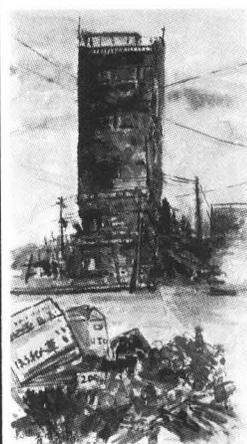
新湊川トンネル見学会に千人



先の大震災で擁壁護岸が倒壊するなど被害を受けた新湊川はトンネルの改修も終わり通水が行われた。
新湊川は兵庫区の新湊川と石井川が合流して新湊川となり、長田区の荻藻川へと流れている。

明治三十年から三十四年の湊川の付け替え工事で築造された会下山トンネルは高さ七メートルを越え、側壁は煉瓦で底面は花崗岩で造られ、施工は大倉土木組（現、大成建設）だった。
十日の見学会では小雨模様のなか千人を越える市民が新トンネル内を歩いた。旧トンネルについては「湊川隧道保存友の会」への賛同を呼びかけていた。

寄贈いただきました
『竹中信清
阪神・淡路大震災 スケッチ集』
1995.1.17 AM5:46からの記録
著者は兵庫区・長田区でのボランティア活動の中で被災地をスケッチした。同年二月末までに油絵を含め八〇点の作品を仕上げた。各地で展示会を開き、被災地以外の多くの人にも惨状を訴えてきた。



おしらせ
一月にさまざまな震災関連行事が行われます。次の行事は、長田区で予定されています。
① 1・17神戸に灯りを
2001年1月17日(水)午後五時～
御蔵小学校 体育館およびグラウンド
1. 震災資料展
2. 鎮魂の太鼓演奏
3. 「1・17 K O B E」に灯りを
② 1・17高取山早朝集中登山
2001年1月17日(水)
午前五時三十分～七時

③ 高取山頂電飾
「復興へのはばたき21」
2001年1月17日(水)午後五時～
九月三〇日(日)
④ 鎮魂コンサート
2001年1月17日(水)
一部 午後四時三十分～
二部 午後六時三十分～
新長田勤労市民センター別館ピフレホール
カンパをいただきました
◆ 戌亥隆さん ◆ 坂井永利さん
ありがとうございました。今後の活動に活用させていただきます。

人・街・ながた 震災資料室だより

人・街・ながた 発行
震災資料室
〒653 神戸市長田区北町3-4-13
電話(078)579-2311
発行人/寿 広文
編集人/福鳥・山西・武川

第49号

- ① 鳥取県西部地震
- ② 防災福祉コミュニティ②
- ③ 震災資料室展を終えて②
- ④ 新湊川トンネル見学会：他

鳥取県西部地震

10月6日の13時30分、神戸においても大きく揺れた。その時あの阪神淡路大震災の悪夢が脳裏をかすめた。その後6日目に鳥取県の要請で『行政としての対応を教えてほしい。』とのことで日野町と米子市、鳥取県庁を訪問した。阪神淡路大震災での経験とそこから得た教訓が少しでもお役に立てればとの思いで神戸市から6名で伺った。

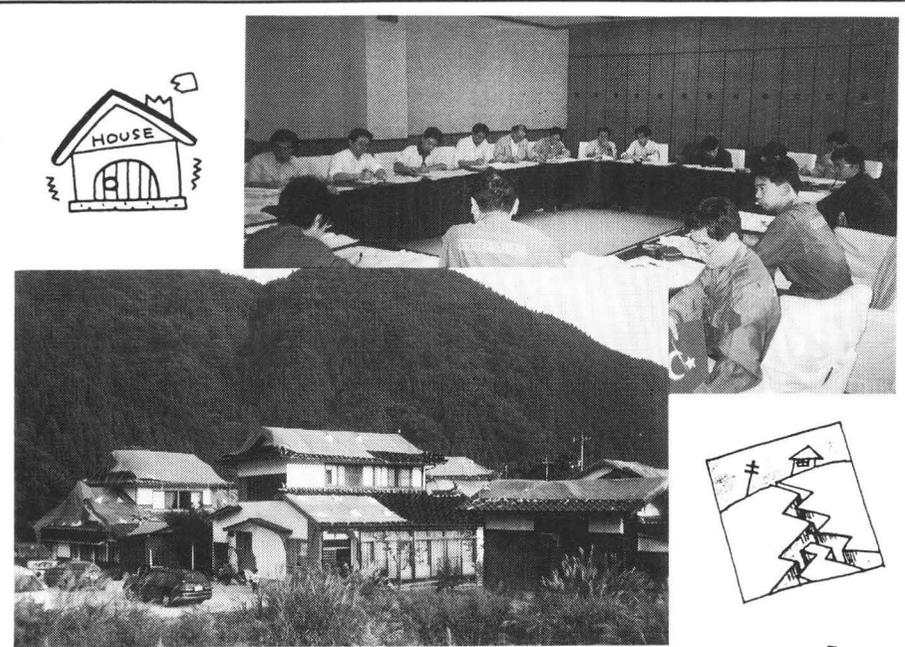
日野町は中国山脈から日本海に流れる日野川の上流に位置し、4600人・1560世帯・高齢化率32・4%の過疎の町で、谷あいの両岸に集落が散在していた。

11日の午後2時に現地に到着。余震が頻繁に続くなか住民の方々は瓦礫の処理や家の後片付けをされていた。この度の地震は縦揺れよりも横揺れが長く続いたということで、家屋の被害も1階が押しつぶされたところはなく、死者も無かった。ほとんどが傾いた状態で東・西面の壁と建具がゆがみ、ガラスが破損していた。
町役場の説明では「火災がなかったために被害

被災地を訪問して(報告)

が拡大しなかったのが幸いした。現在、早急に対応が求められているのは瓦礫処理と家屋の修理、被災証明の発行で、どのように対応したらよいか困っている。阪神・淡路での経験を教えてほしい。」と言われた。神戸からの応援を期待されており、周辺の町や県の現地本部の方々も一同に会して意見交換をした。我々は失敗談を中心に少しでも参考になればと、分かる範囲で精一杯の説明をした。その後、被災現場を視察して具体的な相談に応じた。

ここでも地質などの関係で被害が特定の集落に偏っていた。さらに高齢者が多く、今後再建にむけて格差がいっそう広がるのではないかと、それは地域の繋がりのなかでどこまで助け合えるのかなど不安が残った。
翌日には淡路の北淡町からさらに民間の各種ボランティアが神戸から来られると聞いてこれが地震を体験したものの役割ではないかと感じ、被害者の1日も早い復興を祈った。



防災福祉コミュニティの活動について

長田消防署 松田 雄治

前回は防災福祉コミュニティとはどんなものを説明しました。今回はその具体的な活動内容について紹介します。

1 防災福祉コミュニティをすすめるため防災福祉コミュニティ活動は決してむずかしいものではありません。

・生活している地域を知るため、まちのウォッチング(探索)をしたり

・自治会や老人クラブ、婦人会、子供会などの、幅広い人とともに地域全体で、楽しい企画を盛り込みながら楽しみながら活動をすすめます。

・また、災害に弱い人を助けるため、高齢者や障害者は、どこに住んでいるかを事前に知ったり

・古くから住んでいる人、新しく引っ越して来た人、子供や年をとっている人などに地域のイベントに参加を求め顔見知りを増やしたり

・地域の事業所の参加も求め、コミュニティの一員として、お互いに助け合いあつたりします。
それでは、その具体的な活動メニューはどのようなものでしょうか

2 活動のメニュー

(1) 日頃の地域福祉活動に防災活動の要素を取り入れる

・給食サービス、敬老会、クリスマス会などのなかで防災講習会、映画会、救急講習会、避難訓練を行います。

・運動会などのなかでバケツリレー、担



架りレーなどを行います。

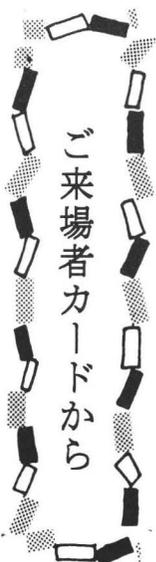
(2) 災害時の防災活動に福祉活動の要素を取り入れる
一人暮らし老人や障害者などを対象とした避難誘導、救出救護、身辺介助等を行います。

(3) 情報をお互いに持ち合せて、あらかじめ地域の役割分担を話し合う
コミュニティの安全マップをみんなで作ったり、地域の安全上の課題を共有し、安全意識の高揚と、町の魅力の再発見もできます。

(4) 定期的に防災訓練をすすめる
消火訓練、救出救護訓練、情報伝達訓練等の防災訓練をおこないます。

このように活動のメニューは多彩で一度にできるものではありません。まず結成し、できるものから始めていくことが大切です。地域自治会等でコミュニティ結成について知りたいことがあれば、消防署や区役所職員がお伺いしますので、気軽にご相談下さい。

※ 長田消防署 五七八〇一一九
長田区役所 五七九一三三二一



11月に行いました資料室展にいられた方々からいただいた感想を前号に引き続きご紹介したいと思います。

・なつかしいような?年月の早さや色々めまぐるしくありました。
(長田区 女性六十二歳)

・震災関連の資料館には、すでに数ヶ所訪問しましたが、当館の資料館が一番簡潔に整理されている感じで(レイアウト等)非常にわかりやすい印象を受けました。
(東灘区 男性三十四歳)

・こういう震災資料展は、大切だと思えます。亡くなった方の冥福をお祈りする意味でも続けていってください。
(加古川市 男性三十六歳)

・みなさんの復興のすごさにびっくりしました。
(宝塚市 女性四十八歳)

・震災当時を思い出しまだまだがんばらなければと思う。
(西宮市 男性五十六歳)

・私は、前にこの震災に対する募金をしました。私がしたことが少しでも役に立てばと思ったからです。大地震はいつ自分たちの住んでいる所に起こるか分からないから恐ろしいです。震災の時にボランティアに行った人々はすごいと思う。行動に移すのは思ったより難しいと思った。
(埼玉県 男性十七歳)

・今振り返れば、あの時は無我夢中でした。あの時は全国のみなさんに助けていただきよかったです。今、生きていく以上どんな困難にもめげず、前向きに生きて生きていきたいと思っています。あの時の事を思えば、今は楽です。
(長田区 男性四十七歳)

・人口が多い街では被災時の避難する土地が無いという問題の大変さを知った。その状況で一先懸命頑張って生活していたという写真を見て感動した。いつ自分に起こってもおかしくないのが大変学習になりました。
(埼玉県 男性十七歳)

・たくさんの資料を見て震災当時のことが思い出して、改めて大変だったのにみんな精一杯頑張って現在まで復興できたことが良かったと思います。特に印象に残ったのは、小学生の震災の作文はありのままの気持ちで伝わり感動しました。
(灘区 男性四十五歳)

・小さな地震でもあの時の怖さに戻ってしまい思い出します。
(長田区 無記名)
「その時を乗り越える力があるかどうか」という言葉、肝に銘じておきたいと思えます。関東大震災が発生した時は、このことを思い出して頑張りたいと思います。
(埼玉県 男性四十二歳)

・出版物の量に改めて驚きました。被災当事者としては、直接混乱や生活対策にばかり気を取られていたのですが、冷静なお立場からはそれぞれ専門からいろいろな視点があるものです。こういうものを法売っておけば各関係団体の資料として眠ってしまうでしょうからこの収集の仕事も大変意義深いことと存じます。
(長田区 男性三十六歳)